

第 93 回理事会議事録

1. 日 時：2024 年 3 月 22 日（金）18 時 30 分～20 時 40 分
2. 議決方法：オンライン会議システム Zoom を使用した
3. 議事参加者：【理事 9 名】 鳩山勝郎、浅越琴美、伊藤直彦、齋藤陽子、寺本直志、古川京司、柳澤彰子、山田和彦、吉田正
【監事 2 名】 関口修、正村祐一
【事務局 2 名】 高野英樹事務局長、仲村篤志競技会事業部長
(理事現在数：12 名、定足数 7 名、本人出席 9 名)

4. 議事の経過及び結果

WEB 会議システムを用いて理事会を開催した。WEB 会議システムにより出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり適時的確な意見交換ができることを確認した。鳩山会長を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 92 回議事録の承認について
議事録案を承認した。

第 2 号議案 次期役員立候補状況について
次期役員の立候補状況を了承した。理事、監事ともに定足数を満たすことを確認した。

第 3 号議案 2024 年度予算案及び事業計画書について
鳩山会長より 2024 年度予算案について以下の説明があった。
2024 年度予算案は 2023 年 12 月時点から状況の変化はなく、若干の修正を加えて 402 万円の赤字予算となった。
収入については、公認料収入は現状維持を、年会費収入と主催競技会収入は減少を見込み、森村豊明会のユース代表派遣支援を反映させ、総額は昨年度とほぼ同様とした。経費については、ユース代表派遣費用の減少と日本代表派遣の費用の増額を想定し、総額では昨年度より若干減少した。
その結果、経常収益 157,330,000 円、経常費用 161,350,000 円、総額 4,020,000 円の赤字となる 2024 年度予算案が提出された。全理事による検討、確認の結果、3 月 22 日にこれを承認した。
鳩山会長より 2024 年度事業計画書が提出された、全理事による検討、確認の結果、3 月 22 日にこれを承認した。
鳩山会長より 2024 年度の資金調達および設備投資について計上を行わない旨提案があった。検討の結果、3 月 22 日にこれを承認した。
なお、監事は 2024 年度予算案、2024 年度事業計画書、2024 年度資金調達お

よび設備投資について異議を述べなかった。

第4号議案 2023年度の寄附について

鳩山会長より2023年度は高松宮妃癌研究基金に10万円の寄附を行いたい旨提案がありこれを承認した。

第5号議案 会員会友からの提案について

2023年12月6日に開催された首都圏センター共催のリジョナル服部杯において、東京会場の4センターの入賞者の賞品に不一致が生じたことをきっかけに会友2名より、会員・会友による公認クラブ及びセンターに関連する苦情についてJCBLに受付窓口を設置し必要があれば対応にあたること、および公認クラブ及びセンターによる不適切な行為や会員・会友への不誠実な対応等に対してJCBLが指導勧告を行う責任を負うことの2点についてJCBLの規定に追記し明文化する提案がだされた。

検討の結果、公認クラブ及びセンターに関する苦情についてはJCBL事務局が従来通り受付窓口となること、また、公認クラブ及びセンターに関連する苦情について、競技に関する件はJCBLから従来通り必要に応じ指導勧告を行い、事業運営に関する件はJCBLと当該クラブ及びセンターとの間のコミュニケーションを通じて解決を図っていくことを確認した。また服部杯の賞品不一致についての事実確認と原因究明を改めて行うこととした。さらに、服部杯を含むJCBL主催からセンター主催に移管したリジョナル競技会の適切な運営を首都圏センター会議に要請することとした。なお、本件の規定への追記について見送ることとした。

第6号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会

吉田企画委員長より2月14日および3月13日に行われた企画委員会について以下の報告があった。

2月の企画委員会でJCBLの収支の見通しの厳しさを指摘する声があり、検討の必要があるとの方向でまとまった。そこで、収支改善のワーキンググループ(以下、収支WG)を設置することとし、企画委員の中から参加者を募った。収支WGは、グループ長寺本直志、グループメンバー齋藤陽子および浅越ことみの合計3名とした。

3月の企画委員会で収支WGより検討結果および提案内容が報告され、改善のための提案がだされた。提案内容は概ね了承され、理事会に諮ることとした。寺本収支WG長より2月26日および3月5日に開催された収支WGについて報告があり、MPハガキおよび会報の電子化の促進、それに合わせた会員、

会友の年会費の金額の見直し、ならびに家賃負担の軽減のための検討の開始について、同グループから提案された。

検討の結果、収支 WG の提案内容は選択肢の 1 つであることが認められ、引き続き収支 WG 情報収集や議論を進めていくこととした。

2. 代表選抜委員会

齋藤代表選抜委員より 2024 ワールドブリッジゲームズミックス代表選抜試合の結果について報告があり、同ミックス代表を承認した。

2024 ワールドブリッジゲームズ日本代表

ミックス部門

大手瑠利、仙石響子、古田一雄、三浦裕明、宮国亜矢子、宮国健次

3. 競技委員会

寺本競技委員長より 3 月 6 日に開催された第 287 回競技委員会について報告があった。

4. 普及事業部

齋藤普及事業担当理事より 2023 年度後期の各大学授業の実施状況および単位取得者数が報告された。

齋藤普及事業担当理事より知人を紹介して優待券を獲得するキャンペーンの対象を従来の入門講習会参加者に加えて体験教室受講者まで拡大する旨報告があった。

齋藤普及事業担当理事より 5 月にタイのバンコクで開催される第 9 回 APBF コングレスの U21、U26 の各日本代表、および 7 月にポーランドのヴロツワフで開催される第 8 回ユーストランスナショナル選手権の U21、U26 の各日本代表が選抜された旨報告があり、各代表を承認した。

第 9 回 APBF コングレス日本代表

U21 部門

浦野航平、岡本隆之介、野口広樹、本多柊太

U26 部門

稲村優佳、宗逸寒、滝澤憲、平井啓斗、三浦優悟、柳下晃太郎

第 8 回世界ユーストランスナショナル選手権日本代表

U21 部門

浦野航平、岡本隆之介、肖宇祺、野口広樹、本多柊太

U26 部門

宗逸寒、滝澤憲、鶴直也、中牟田真、西多史陽、柳下晃太郎

5. 競技会事業部

山田競技会事業担当理事より競技会事業部活動状況および資格取得者の報告があった。

6. 広報事業

柳澤広報事業担当理事より広報活動について以下の報告があった。
広報活動として Facebook および X に多数の情報掲載を行っている。広報活動により各大学の新規部員獲得につなげていきたい。

7. 人事委員会

齋藤人事委員長より以下の報告があった。

職員 1 名が 2 月 20 日付で退職した。本人の個人的な事情によるもので、JCBL による退職勧奨に本人が同意を行った。そのため、2024 年 5 月号の会報に掲載して代替りの職員 1 名の募集を行っていく。

2024 年 3 月 5 日に人事委員会を開催し職員の 2023 年度の評価および 2024 年度の年俸を決定した。

8. 法人・管理部

寺本法人・管理担当理事より 2 月末時点の比較財務諸表、月次収支実績、クラブ勘定残高について以下の報告があった。

2023 年度の収支状況については、2 月末時点での収支累計は約 8 百万の黒字となっており、昨年の同時期と比べ約 2 千 4 百万円の収支の悪化となっている。決算見込みは多少の赤字でおさまる見込み。クラブ勘定の残高については問題がない。

第 7 号議案 その他の議案

1. 次回理事会開催について

次回理事会は 2024 年 4 月 26 日（金）18 時 30 分よりオンラインにより開催する。

本日の WEB 会議システムを用いた理事会は、即時・双方向性が満たされており、終始異常なく議題の審議を終了した。

2024 年 3 月 22 日

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 93 回理事会

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 関口 修

正村 祐一

議事録作成者 寺本直志